



目隠し可動ルーバー (引違い窓用) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

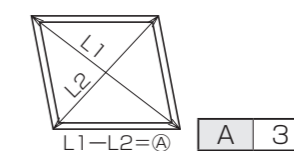
- 目隠し可動ルーバーの落下・転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度がありません。
 - ・木造躯体専用のため、ALC・RCなどの躯体には使用しないでください。
 - ・取付け前に必ず、柱と間柱の位置・寸法、外壁材・下地材を建築図面で確認してください。
 - ・通気工法の場合、取付け部に胴縁があることを確認してください。
 - ・壁厚が30mm以上の場合、必ず厚壁用ねじセット(別売品)をご使用ください。
 - ・強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ねじを指定の数量使用してください。
 - ・外壁の下穴は、柱まであけないでください。
 - ・外壁だけでなく、必ず柱などの躯体にねじ止めしてください。
 - ・外壁の下穴は、φ3mmのドリルを使用してください。
 - ・取付け後、本体をゆすり、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。
- 外壁の下穴には、必ずコーキング材を充てんしてください。コーキング材を充てんしないと漏水の原因となるおそれがあります。
- 取付けは、相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(製品重量は最大で約18kgになります。)

取付け上のおお願い

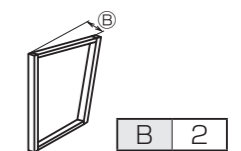
- ねじは必ず締め付けてください。
- 不在の時は、人が侵入するおそれがありますので窓を施錠してください。
- ブラケットの上下方向の取付け位置調整はできません。事前に参考納まり図をご確認ください。
- 目隠し可動ルーバー出来寸法がW1745以上、またはW1425以上かつH801以上の場合、上枠に中間ブラケットが付きます。
- 入隅納まりについては、入隅ブラケットセット(別売品)と本ブラケットセットを組み合わせてご使用ください。
- 入隅納まりの取付けについては、入隅ブラケットセットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

- 目隠し可動ルーバー室外面には、サイズにより養生テープが張られています。これは目隠し可動ルーバー枠の剛性を保つためのものですので、躯体への取付けが完了するまでははがさないでください。
- 躯体に固定する際に、目隠し可動ルーバー枠が下記の寸法以下になっているかを確認してください。

■枠対角差



■枠のねじれ



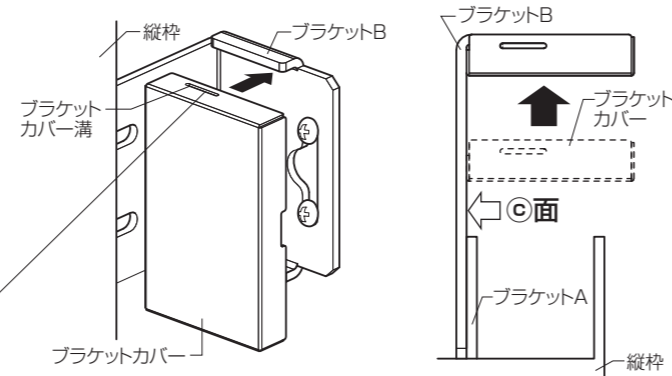
■部品一覧

部品名	数量	部品名	数量
ブラケットB	4個入 (5個入)	ブラケットカバー	4個入 (5個入)
トラス小ねじM4×6	8本入 (10本入)	トラスタッピンねじ(1種)φ4×50	8本入 (10本入)

※()内は中間ブラケットが付く場合の個数になります。

3 ブラケットカバーの取付け

- ①ブラケットカバーをブラケットBの◎面に沿わせながら、ブラケットBが隠れるまではめ込みます。
- ②取付け後、ブラケットカバーが外れないことを確認してください。



※ 取付け向きがあります ※

ブラケットカバーの溝が目隠し可動ルーバー側になっていることを確認してください。

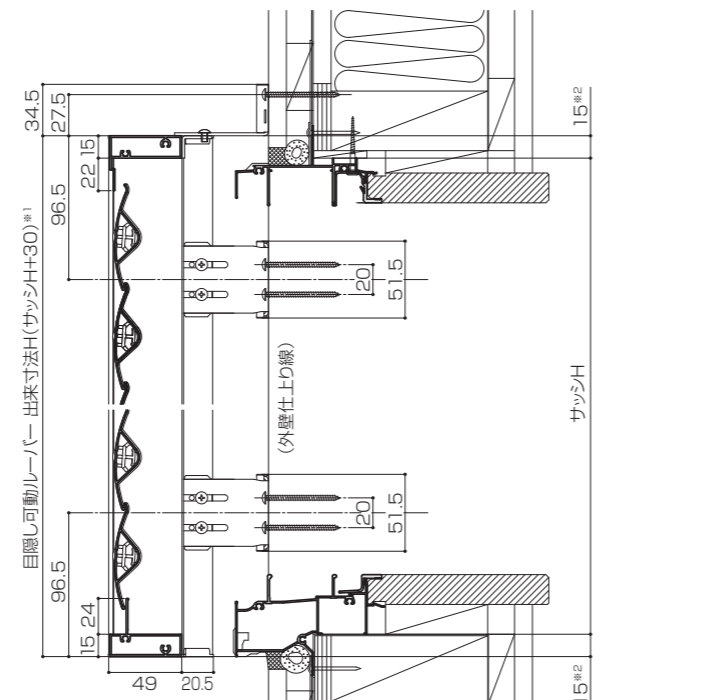
■参考納まり図(半外付型)

※目隠し可動ルーバー出来寸法がW1745以上、またはW1425以上かつH801以上の場合には上枠に中間ブラケットが付きます。

●縦断面図

【上下方向の取付け位置について※1】

- 参考納まり図は規格サイズ(サッシH+30)です。特注サイズの場合は、※2の寸法を調整し取付けてください。
- ※中間ブラケットが付くサイズの場合は、躯体にねじ止めできる位置になるよう調整してください。



●横断面図

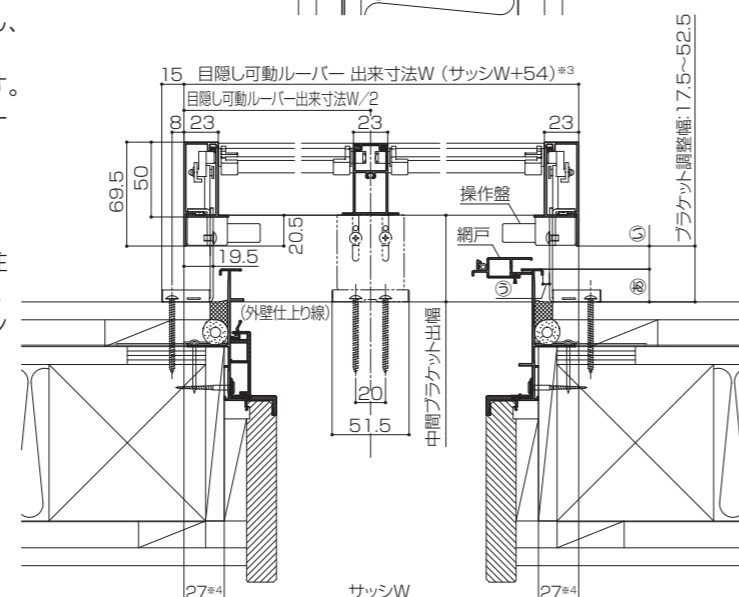
【ブラケットの出幅調整について】

- 外壁からのサッシ枠の出寸法⑥と網戸の脱着性を考慮し、ブラケットの出幅寸法を調整してください。推奨①寸法は、引違い窓15.5mm、装飾窓17.5mmです。目隠し可動ルーバーの上部・下部から網戸を外すスペースがない場合は、上記寸法を確保してください。
- 中間ブラケット出幅=⑥寸法+①寸法+20.5mm

【左右方向の取付け位置について※3】

- 参考納まり図は規格サイズ(サッシW+54)です。特注サイズの場合は、※4の寸法を調整し取付けてください。
- サッシ枠とブラケットBが干渉しないよう、下記の各サッシにおける⑤寸法をご確認ください。(規格サイズの場合)

品種	⑤寸法 (mm)	
サーモス	引違い	4.5
	装飾	4.5
シンフォニーW/M デュオ	引違い	5.5
	装飾	12.5



■取付け順序

1 ブラケットBの取付け

●目隠し可動ルーバーに取付けられているブラケットAと中間ブラケットにブラケットBを取付けます。取付けの際は、ブラケットの出幅を調整してください。

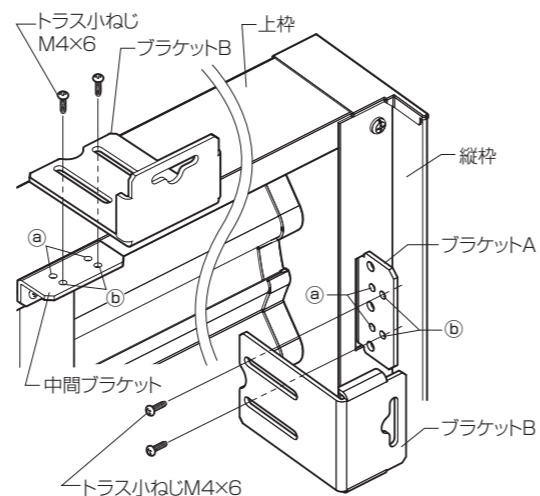
※調整幅については参考納まり図をご確認ください。

【ブラケットAの取付けねじ穴①、②について】

ブラケットAのねじ穴①、②は、ブラケットの出幅寸法によって取付けるねじ穴が決まります。下記を参照し、該当するねじ穴にブラケットBを固定してください。

ブラケット出幅寸法	取付けるねじ穴
17.5~23.5	①
24.0~52.5	②

※操作盤と網戸の干渉にご注意ください。



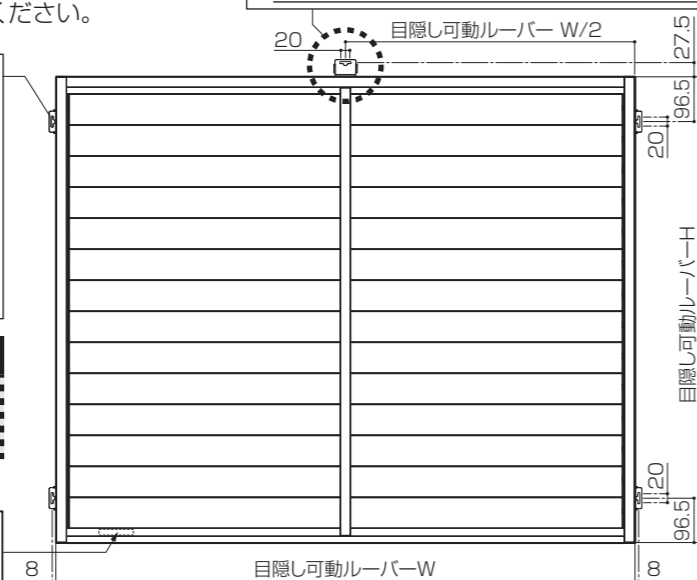
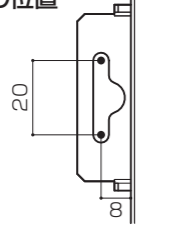
2 目隠し可動ルーバー本体の取付け

①目隠し可動ルーバー取付け位置の墨出しをしてください。

※墨出しをする際には、参考納まり図をご確認ください。

※中間ブラケット付きの場合のみ
上枠が垂れ下がった状態にならないように墨出ししてください。

■墨出し位置



▲注意

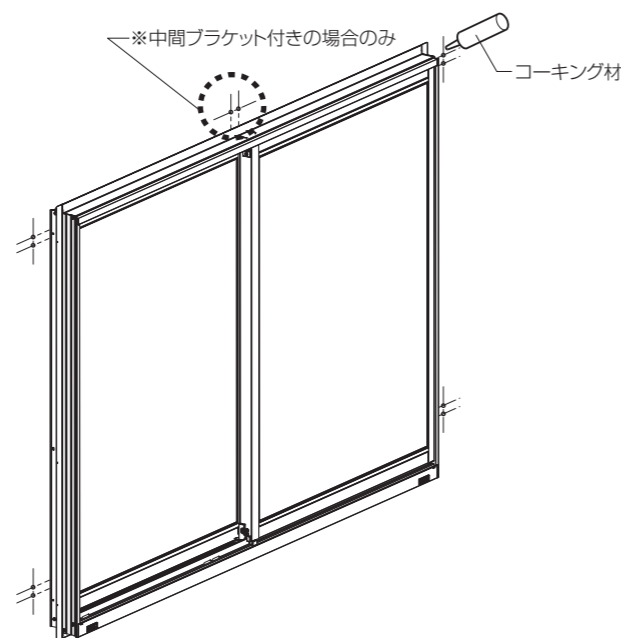
●外壁だけでなく、必ず柱などの躯体にねじ止めしてください。

ロットNo.表示位置
下枠内観

②墨出した取付け位置に下穴(φ3mm)をあけ、コーキング材を充てんしてください。

▲注意

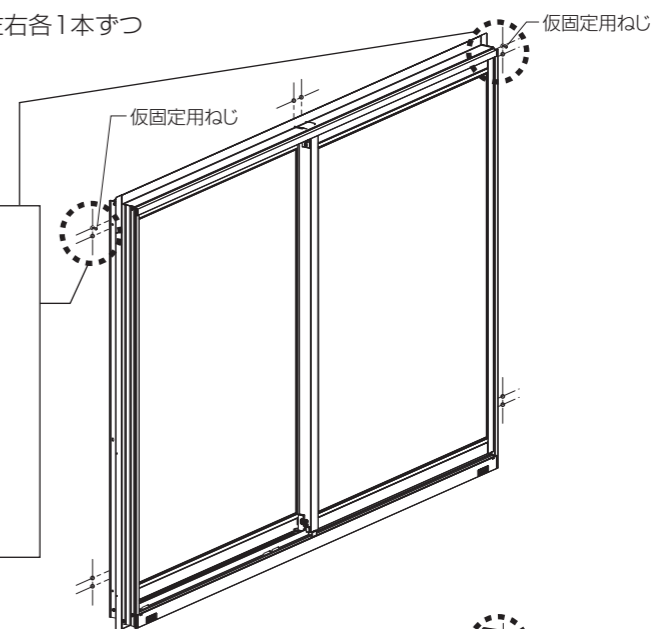
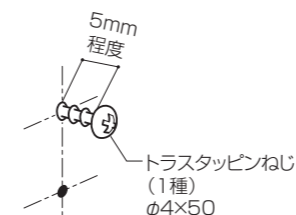
●外壁の下穴には必ずコーキング材を充てんしてください。
●外壁の下穴は、柱まであけないでください。



2/4

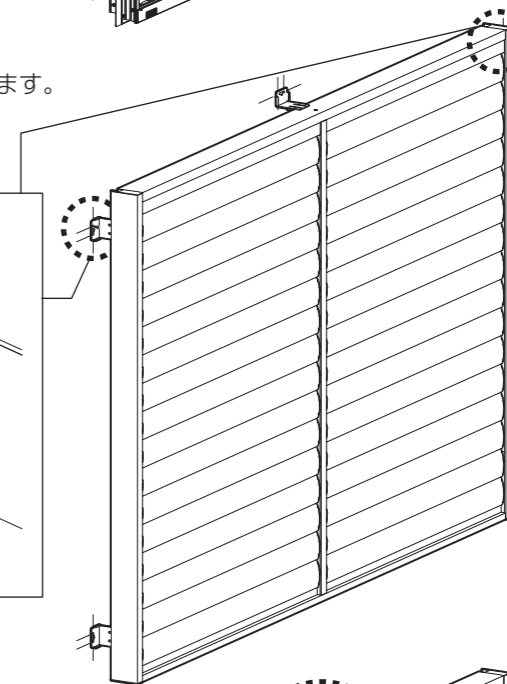
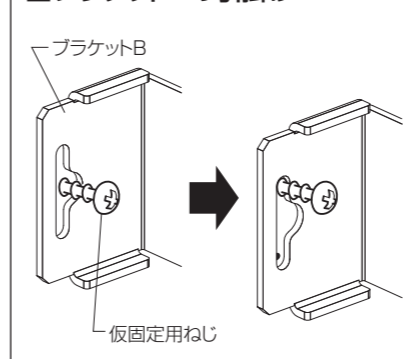
③両側の上部ブラケット取付け下穴に仮固定用ねじを左右各1本ずつ外壁面から5mm程度残して途中まで締めます。

**■仮固定用ねじ
※ブラケット上部のみ**

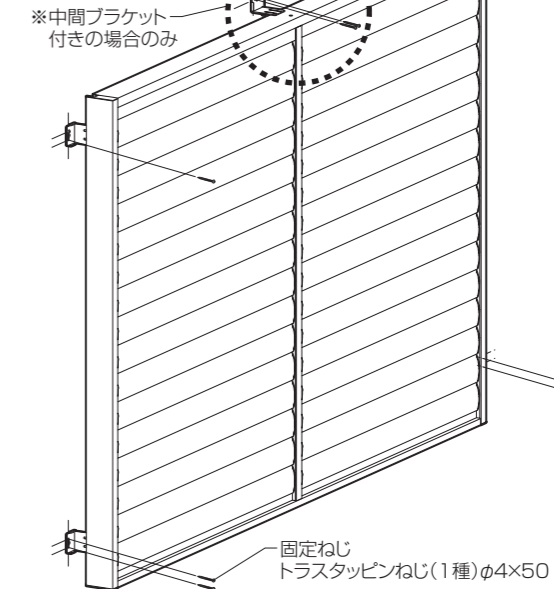


④左右それぞれの仮固定用ねじにブラケットBを引掛けます。

■ブラケットBの引掛け



⑤仮固定用ねじを最後まで締め付け、残りの下穴についても固定ねじで固定します。



3/4